

2 事業別決算状況（法適用企業）

（１）上水道事業

① 事業数及び利用状況

県内市町村の上水道事業は、令和６年度末現在で 20 事業であり、全て末端給水事業（一般家庭等の蛇口に水道水を供給する事業）である。

現在給水人口は 98 万 1,421 人で、前年度（99 万 1,042 人）に比べて 9,621 人の減少である。また、普及率（対行政区域内人口）は 96.3%である（第 1 表）。

年間総配水量は 1 億 3,230 万 m^3 で、前年度（1 億 3,203 万 m^3 ）に比べ 27 万 m^3 （0.2%）増加し、このうち料金対象となる年間総有収水量（給水量）は 1 億 1,225 万 m^3 で、前年度（1 億 1,249 万 m^3 ）に比べ 24 万 m^3 （0.2%）減少した。このため、有収率（年間総配水量に対する年間総有収水量）は 84.8%となり、前年度（85.2%）から 0.4 ポイント減少した。

1 人 1 日平均給水量は、令和 6 年度は 312ℓで、前年度（311ℓ）に比べ 1ℓ（0.3%）増加した。

また、施設の状況を見ると、配水管延長は 9,167 k mで前年度（9,150 k m）に比べ 17 k m増加し、配水能力は 524 千 m^3 ／日で前年度（530 千 m^3 ／日）に比べ 6 千 m^3 ／日減少した。

第 1 表 上水道事業の給水人口、給水量及び普及率の推移

項目	年度	2	3	4	5	6	対前年度増減率（%）			
							3	4	5	6
行政区域内現在人口（Ａ）人		1,057,541	1,048,519	1,039,195	1,030,421	1,019,234	△0.9	△0.9	△0.8	△1.1
計画給水人口（Ｂ）人		1,059,305	1,059,297	1,058,404	1,058,404	1,057,304	0.0	△0.1	0.0	△0.1
現在給水人口（Ｃ）人		1,013,669	1,006,215	998,524	991,042	981,421	△0.7	△0.8	△0.7	△1.0
普及率	（Ｃ）／（Ａ）×１００％	95.9	96.0	96.1	96.2	96.3	0.1	0.1	0.1	0.1
	（Ｃ）／（Ｂ）×１００％	95.7	95.0	94.3	93.6	92.8	△0.7	△0.7	△0.7	△0.8
年間総配水量（Ｄ）千 m^3		134,177	133,597	132,265	132,025	132,297	△0.4	△1.0	△0.2	0.2
年間総有収水量（Ｅ）千 m^3		115,966	115,251	113,543	112,494	112,247	△0.6	△1.5	△0.9	△0.2
有収率（（Ｅ）／（Ｄ）×１００）％		86.4	86.3	85.8	85.2	84.8	△0.1	△0.5	△0.6	△0.4
1人1日平均給水量 （（Ｅ）／（（Ｃ）×365））		313	314	312	311	312	0.3	△0.6	△0.3	0.3

（注） 1 普及率及び有収率の対前年度増減率欄は、増減ポイントを示す。
2 令和5年度の1人1日平均給水量は、366日で計算。

② 収益的収支の状況

令和 6 年度の総収益は、200 億 4,271 万円で前年度（197 億 4,221 万円）に比べて 3 億 50 万円（1.5%）増加した（第 2 表）。

また、総費用は 180 億 3,346 万円で前年度（175 億 1,637 万円）に比べて 5 億 1,709 万円（3.0%）増加した。

純損益は 20 億 925 万円の黒字となり、前年度（22 億 2,584 万円）に比べて 2 億 1,659 万円（9.7%）減少、総収支比率は 111.1%と前年度（112.7%）から 1.6 ポイント減少した。

純損益の内訳を見ると、純利益を生じた事業は 17 事業で、純利益の総額は 21 億 790 万円となり、純損失を生じた事業は 3 事業で、純損失の総額は 9,865 万円となった。

一方、経常収支比率は 111.2%と前年度（112.9%）から 1.7 ポイント減少した。

また、令和 6 年度末に累積欠損金（赤字の累積額）を有する事業は 2 事業で、その総額は 4 億 9,892 万円で前年度末（5 億 743 万円）に比べ 851 万円（1.7%）減少した。

第2表 上水道事業の決算状況の推移

(単位:千円、%)

項目	年度	2	3	4	5	6	対前年度増減率			
							3	4	5	6
総 収 益 (A)		19,547,752	19,856,160	19,745,184	19,742,205	20,042,709	1.6	△0.6	0.0	1.5
経 常 収 益 (B)		19,467,677	19,828,808	19,702,634	19,729,621	20,015,139	1.9	△0.6	0.1	1.4
営 業 収 益 (C)		17,760,887	18,207,168	17,217,220	18,076,831	18,363,491	2.5	△5.4	5.0	1.6
うち料金収入		17,018,560	17,464,466	16,721,687	17,642,563	17,950,313	2.6	△4.3	5.5	1.7
他会計繰入金 (D)		310,768	363,152	499,487	389,010	270,416	16.9	37.5	△22.1	△30.5
総 費 用 (E)		18,412,636	17,814,478	18,066,866	17,516,366	18,033,456	△3.2	1.4	△3.0	3.0
経 常 費 用 (F)		17,623,801	17,769,036	17,928,756	17,475,225	17,993,581	0.8	0.9	△2.5	3.0
営 業 費 用		16,327,687	16,582,944	16,816,898	16,449,579	17,024,105	1.6	1.4	△2.2	3.5
うち職員給与費		2,385,064	2,383,230	2,307,881	2,343,246	2,489,022	△0.1	△3.2	1.5	6.2
うち減価償却費		7,600,609	7,503,014	7,770,153	7,681,072	7,642,951	△1.3	3.6	△1.1	△0.5
営業外費用うち支払利息		1,271,373	1,162,465	1,062,840	995,284	951,600	△8.6	△8.6	△6.4	△4.4
経 常 損 益 (B) - (F)		1,843,876	2,059,772	1,773,878	2,254,396	2,021,558	11.7	△13.9	27.1	△10.3
純 損 益 (A) - (E)		1,135,116	2,041,682	1,678,318	2,225,839	2,009,253	79.9	△17.8	32.6	△9.7
累 積 欠 損 金 (G)		299,577	370,573	463,402	507,430	498,922	23.7	25.1	9.5	△1.7
不 良 債 務 (H)		0	0	0	0	0	-	-	-	-
経常収支比率 (B) / (F)		110.5	111.6	109.9	112.9	111.2	1.1	△1.7	3.0	△1.7
総収支比率 (A) / (E)		106.2	111.5	109.3	112.7	111.1	5.3	△2.2	3.4	△1.6
累積欠損金比率 (G) / (C)		1.7	2.0	2.7	2.8	2.7	0.3	0.7	0.1	△0.1
不良債務比率 (H)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
総 事 業 数 (I)		20	20	20	20	20	-	-	-	-
純損失を生じた事業数 (J)		3	3	4	3	3	0.0	33.3	△25.0	0.0
累積欠損金を有する事業数 (K)		2	2	2	2	2	-	-	-	-
不良債務を有する事業数 (L)		0	0	0	0	0	-	-	-	-
(建設中事業を除く) 対総事業数の割合に 純損失を生じた事業数 (J) / (I)		15.0	15.0	20.0	15.0	15.0	-	5.0	△5.0	-
累積欠損金を有する事業数 (K) / (I)		10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	-	-	-	-
不良債務を有する事業数 (L) / (I)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
繰入率(損益勘定) (D) / (A)		1.6	1.8	2.5	2.0	1.3	0.2	0.7	△0.5	△0.7
参 考	資本収支他会計繰入金	737,295	865,948	964,601	937,227	880,956	17.4	11.4	△2.8	△6.0
	他会計繰入金合計額	1,048,063	1,229,100	1,464,088	1,326,237	1,151,372	17.3	19.1	△9.4	△13.2

(注) 1 他会計繰入金は、経常収益及び特別利益に係る他会計繰入金を含んでいる。

2 累積欠損金は、累積欠損金を生じた団体の合計である。

3 各比率、割合の対前年度増減率は増減ポイントを示す。

③ 資本的収支の状況

令和6年度の資本的支出は149億9,062万円で、前年度(137億9,694万円)に比べて11億9,368万円(8.7%)増加した(第3表)。

この内訳を見ると、建設改良費は98億4,279万円で、前年度(85億6,278万円)に比べて12億8,001万円(14.9%)増加した。企業債償還金は51億4,257万円で、前年度(52億3,247万円)に比べて8,990万円(1.7%)減少した。

また、資本的収入は、59億9,717万円と、前年度(58億236万円)に比べて1億9,481万円(3.4%)増加した。

④ 他会計繰入金の状況

一般会計からの繰入金は、収益的収入へ2億7,042万円、資本的収入へ8億8,095万円、合わせて11億5,137万円であり、前年度(13億2,624万円)に比べて1億7,487万円(13.2%)減少した(第2表)。

第3表 上水道事業の資本的収支の推移

(単位: 千円、%)

項目	年度	2	3	4	5	6	対前年度増減率			
							3	4	5	6
資本的支出	建設改良費	9,817,949	9,748,252	8,716,735	8,562,784	9,842,785	△0.7	△10.6	△1.8	14.9
	企業債償還金	5,266,523	5,417,686	5,344,209	5,232,466	5,143,569	2.9	△1.4	△2.1	△1.7
	その他	2,018	3,376	3,037	1,685	4,267	67.3	△10.0	△44.5	153.2
	計 (A)	15,086,490	15,169,314	14,063,981	13,796,935	14,990,621	0.5	△7.3	△1.9	8.7
同 上 財 源	内部資金 (B)	9,236,914	9,823,226	8,697,068	7,994,571	8,980,959	6.3	△11.5	△8.1	12.3
	外部資金 (C)	5,849,576	5,346,088	5,366,913	5,802,364	5,961,262	△8.6	0.4	8.1	2.7
	企業債	4,453,500	4,090,900	3,856,200	4,276,500	4,879,100	△8.1	△5.7	10.9	14.1
	国・県補助金	301,068	263,682	360,852	358,809	161,084	△12.4	36.9	△0.6	△55.1
	繰越他会計出資金	547,354	620,382	706,600	667,267	583,380	13.3	13.9	△5.6	△12.6
	繰越他会計負担金	93,643	100,139	101,594	89,157	126,176	6.9	1.5	△12.2	41.5
	繰入他会計借入金	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	繰入他会計補助金	96,298	145,427	156,407	180,803	171,400	51.0	7.6	15.6	△5.2
	繰入金計	737,295	865,948	964,601	937,227	880,956	17.4	11.4	△2.8	△6.0
	計 (B)+(C)	15,086,490	15,169,314	14,063,981	13,796,935	14,942,221	0.5	△7.3	△1.9	8.3
財 源	不足額 (A)-(B)-(C)	0	0	0	0	48,400	-	-	-	皆増

(注) 1. 内部資金: 補填財源合計額-前年度からの繰越工事資金+固定資産売却代金

2. 外部資金: 資本的支出額- (内部資金+補填財源不足額)

⑤ 給水原価と料金の状況

令和6年度の供給量1m³当たりの供給単価は159円92銭で、前年度(156円83銭)に比べ3円9銭(2.0%)増加した(第4表)。

また、1m³当たり給水原価は150円3銭で、前年度(145円2銭)に比べ5円1銭(3.5%)増加し、給水原価に対する供給単価の比率(採算の割合)は106.6%となり、前年度(108.1%)に比べて1.5ポイント減少した。

令和6年度中に料金改定を行った事業は0事業で、家庭用10m³当たりの県平均水道料金は1,580円となり、前年度から変化はなかった。

第4表 給水原価及び料金の推移

項目	年度	2	3	4	5	6	対前年度増減率(%)			
							3	4	5	6
供給単価(円/m ³)		146.75	151.53	147.27	156.83	159.92	3.3	△2.8	6.5	2.0
給水原価(円/m ³)		141.94	144.09	147.60	145.02	150.03	1.5	2.4	△1.7	3.5
家庭用10m ³ 当たりの 県平均水道料金(円)		1,502	1,502	1,534	1,580	1,580	-	2.2	3.0	-

(2) 簡易水道事業

① 事業数及び利用状況

令和6年度末の事業数は、前年度（5事業）に比べて、追加で5事業が法適用事業となり、10事業となっている。

令和6年度の給水人口は23,837人で、普及率（対行政区域内人口）は8.5%であった。

年間総配水量は3,841千 m^3 で、うち料金対象となる年間総有収水量（給水量）3,264千 m^3 であった。このため、有収率（年間総配水量に対する年間総有収水量）は85.0%となり、1人1日平均給水量は、374ℓとなった。

また、施設の状況のうち、配水管延長は1,504.32kmで、配水能力は17.5千 m^3 /日であった。

第5表 簡易水道事業の給水人口、給水量及び普及率の推移

項目 \ 年度	2	3	4	5	6	対前年度増減率(%)			
						3	4	5	6
行政区域内現在人口（A）人	251,165	248,907	247,026	254,749	281,837	△0.9	△0.8	3.1	10.6
計画給水人口（B）人	15,026	15,026	15,026	20,674	35,590	0.0	0.0	37.6	72.1
現在給水人口（C）人	10,213	10,023	9,838	14,855	23,837	△1.9	△1.8	51.0	60.5
普及率	(C) / (A) × 100 %	4.1	4.0	4.0	5.8	△0.1	-	1.8	2.7
	(C) / (B) × 100 %	68.0	66.7	65.5	71.9	△1.3	△1.2	6.4	△4.9
年間総配水量（D）千 m^3	1,862	1,812	1,798	2,449	3,841	△2.7	△0.8	36.2	56.8
年間総有収水量（E）千 m^3	1,508	1,460	1,454	1,992	3,264	△3.2	△0.4	37.0	63.9
有収率（(E) / (D) × 100）%	81.0	80.6	80.9	81.3	85.0	△0.5	0.3	0.4	3.7
1人1日平均給水量 ℓ (E) / ((C) × 365)	405	399	405	367	374	△1.5	1.5	△9.4	1.9

- (注) 1 令和2年度及び令和6年度の1人1日平均給水量は、366日で計算。
2 普及率及び有収率の対前年度増減率欄は、増減ポイントを示す。

② 収益的収支の状況

令和6年度の総収益は13億7,020万円、総費用は13億7,781万円であった。

純損益は760万円の赤字で、総収支比率は99.4%であった。純損益の内訳は、純利益が生じた事業は8事業で純利益の総額は3,832万円、純損失を生じた事業は2事業で純損失の総額は4,592万円であった。

一方、経常収支比率は99.8%となった。

また、令和6年度末に累積欠損金（赤字の累積額）を有する事業は2事業で総額は1億3,102万円であった。

③ 他会計繰入金の状況

一般会計からの繰入金は7億1,317万円で、内訳は収益的収入へ4億7,642万円、資本的収入へ2億3,675万円であった。

第6表 簡易水道事業の決算状況の推移

(単位:千円、%)

項目		年度	2	3	4	5	6	対前年度増減率			
								3	4	5	6
総 収 益 (A)			558,392	560,023	540,932	869,373	1,370,203	0.3	△3.4	60.7	57.6
	経 常 収 益 (B)		557,794	526,734	540,120	866,929	1,363,176	△5.6	2.5	60.5	57.2
	営 業 収 益 (C)		187,901	182,677	175,786	287,324	450,624	△2.8	△3.8	63.5	56.8
	うち料金収入		186,457	181,244	173,905	286,026	447,843	△2.8	△4.0	64.5	56.6
	他会計繰入金 (D)		305,070	287,687	294,999	444,519	606,995	△5.7	2.5	50.7	36.6
総 費 用 (E)			555,349	569,408	551,701	808,213	1,377,806	2.5	△3.1	46.5	70.5
	経 常 費 用 (F)		537,335	545,988	547,972	804,384	1,365,800	1.6	0.4	46.8	69.8
	営 業 費 用		496,452	510,550	512,854	747,971	1,290,920	2.8	0.5	45.8	72.6
	うち職員給与費		53,268	55,709	55,287	73,869	118,319	4.6	△0.8	33.6	60.2
	うち減価償却費		251,761	253,571	244,578	365,883	681,813	0.7	△3.5	49.6	86.3
	営業外費用うち支払利息		33,524	32,964	33,988	48,483	63,712	△1.7	3.1	42.6	31.4
経 常 損 益 (B)－(F)			20,459	△ 19,254	△ 7,852	62,545	△ 2,624	△194.1	△59.2	△896.5	△104.2
純 損 益 (A)－(E)			3,043	△ 9,385	△ 10,769	61,160	△ 7,603	△408.4	14.7	△667.9	△112.4
累 積 欠 損 金 (G)			32,469	46,442	66,516	85,102	131,022	43.0	43.2	27.9	54.0
不 良 債 務 (H)			0	0	0	0	0	－	－	－	－
経常収支比率 (B)／(F)			103.8	96.5	98.6	107.8	99.8	△7.1	2.2	9.3	△8.0
総収支比率 (A)／(E)			100.5	98.4	98.0	107.6	99.4	△2.2	△0.3	9.7	△8.1
累積欠損金比率 (G)／(C)			17.3	25.4	37.8	29.6	29.1	46.8	48.8	△21.7	△0.5
不良債務比率 (H)／(C)			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－	－	－
総 事 業 数 (I)			3	3	3	5	10	－	－	－	－
純損失を生じた事業数 (J)			1	1	1	1	3	－	－	－	－
累積欠損金を有する事業数 (K)			1	1	1	1	2	－	－	－	－
不良債務を有する事業数 (L)			0	0	0	0	0	－	－	－	－
(建設中事業を割合に除く)	純損失を生じた事業数 (J)／(I)		33.3	33.3	33.3	20.0	30.0	－	－	－	－
	累積欠損金を有する事業数 (K)／(I)		33.3	33.3	33.3	20.0	20.0	－	－	－	－
	不良債務を有する事業数 (L)／(I)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－	－	－
繰入率(損益勘定) (D)／(A)			54.6	51.4	54.5	51.1	44.3	△5.9	6.0	△6.2	△13.3
参 考	資本収支他会計繰入金		58,640	74,368	91,666	130,519	236,749	26.8	23.3	42.4	81.4
	他会計繰入金合計額		363,710	362,055	386,665	575,038	843,744	△0.5	6.8	48.7	46.7

- (注) 1 他会計繰入金は、経常収益及び特別利益に係る他会計繰入金を含んでいる。
2 累積欠損金は、累積欠損金を生じた団体の合計である。
3 各比率、割合の対前年度増減率は増減ポイントを示す。

④ 資本的収支の状況

令和6年度の資本的支出は16億2,555万円で、内訳は建設改良費が12億1,646万円、企業債償還金は3億8,063万円、その他1,478万円であった。

また、資本的収入は13億5,538万円であった。

第7表 簡易水道事業の資本的収支の推移

(単位: 千円、%)

項目 \ 年度		2	3	4	5	6	対前年度増減率			
							3	4	5	6
資本的支出	建設改良費	427,572	619,773	630,082	962,978	1,216,462	45.0	1.7	52.8	26.3
	企業債償還金	137,192	146,832	163,323	232,861	380,628	7.0	11.2	42.6	63.5
	その他	0	0	0	0	28,455	0.0	0.0	0.0	皆増
	計 (A)	564,764	766,605	793,405	1,195,839	1,625,545	35.7	3.5	50.7	35.9
同 上 財 源	内部資金 (B)	96,324	89,195	109,239	142,220	265,040	△7.4	22.5	30.2	86.4
	外部資金 (C)	468,440	677,410	664,866	1,053,619	1,355,377	44.6	△1.9	58.5	28.6
	企業債	409,800	533,400	573,200	942,400	1,004,400	30.2	7.5	64.4	6.6
	国・県補助金	0	0	0	0	48,001	-	-	-	皆増
	他会計出資金	55,930	73,375	85,702	112,245	174,043	31.2	16.8	31.0	55.1
	他会計負担金	2,710	993	5,964	4,316	6,508	△63.4	500.6	△27.6	50.8
	他会計借入金	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	他会計補助金	0	0	0	13,958	56,198	-	-	皆増	302.6
	繰入金計	58,640	74,368	91,666	130,519	236,749	26.8	23.3	42.4	81.4
	計 (B)+(C)	564,764	766,605	774,105	1,195,839	1,620,417	35.7	1.0	54.5	35.5
財源不足額 (A)-(B)-(C)		0	0	19,300	0	5,128	-	皆増	皆減	皆増

(注) 1. 内部資金: 補填財源合計額-前年度からの繰越工事資金+固定資産売却代金
2. 外部資金: 資本的支出額- (内部資金+補填財源不足額)

⑤ 給水原価と料金の状況

令和6年度の供給量1m³当たりの供給単価は137円20銭であった。

また、1m³当たり給水原価は327円53銭、給水原価に対する供給単価の比率(採算の割合)は41.9%、家庭用10m³当たりの県平均水道料金は1,540円となった。

第8表 簡易水道事業の給水原価及び料金の推移

項目 \ 年度		2	3	4	5	6	対前年度増減率(%)			
							3	4	5	6
供給単価(円/m ³)		123.64	124.17	119.58	143.59	137.20	0.4	△3.7	20.1	△4.5
給水原価(円/m ³)		314.44	336.52	338.46	350.08	327.53	7.0	0.6	3.4	△6.4
家庭用10m ³ 当たりの 県平均水道料金(円)		1,199	1,199	1,272	1,531	1,540	-	6.1	20.3	0.6

(3) 工業用水道事業

① 事業数及び利用状況

工業用水道事業は、宮崎市、高原町の2事業である。

なお、高原町は未稼働であり供用開始に至っていない。

令和6年度末の配水管延長は1,773m、配水能力は、5,000m³/日で、供用開始済分は、宮崎市の2,000m³/日である。また、令和6年度の年間総配水量は344千m³で、前年度(375千m³)より31千m³(8.3%)減少している。

施設利用率(1日平均配水量の現在配水能力に対する割合)は、47.1%で前年度(51.4%)より4.3ポイント減少している。

② 収益的収支の状況

収益的収支が発生しているのは宮崎市だけであり、令和6年度の総収益は、1,979万円
で前年度(2,088万円)より109万円(5.2%)減少している。総費用は1,320万円
で前年度(1,167万円)から153万円(13.1%)増加した。その結果、純利益が659万円となった(前年度純利益921万円)。

③ 資本的収支の状況

令和6年度の資本的支出は946万円で、前年度(1,005万円)から59万円(5.9%)減少した。内訳は、建設改良費769万円、企業債償還金177万円である。

(4) 病院事業

① 事業数及び利用状況

令和6年度末時点の事業数は、市立5、町立3、村立1、組合立1の10事業である。

病院数は12病院、病床数は808床（うち一般病床750床）であり、県内全病院に占める割合は病院数で9.3%、病床数で4.6%である（第9表）。

経営規模別に見ると、100床以上200床未満が2病院、50床以上100床未満が6病院、50床未満が4病院で、全体の83.3%が100床未満の「小規模病院」である。さらに、全ての病院が山間へき地等にあること等により経営環境の厳しい「不採算地区病院」であり、うち1病院が「不採算地区中核病院」である。

病院の利用状況を見ると、病床利用率は65.0%で前年度（63.9%）より1.1ポイント増加した。また、1日平均患者数は2,087人で、前年度（2,120人）に比べ33人（1.6%）減少した（第10表）。

第9表 県内での市町村立病院の占める割合

区 分	病 院 数	病 床 数 (床)
公 立 病 院 (A)	12	808
県 内 病 院 計 (B)	129	17,719
(A) / (B) (%)	9.3	4.6

(注) 県全体(B)の数値は令和6年10月1日現在のものである。

第10表 病床数・患者数等の推移

年度 項目		R2	R3	R4	R5	R6	対前年度増減率				伸長指数 (R2=100)			
							R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6
病 床 数 (床)		881	851	851	830	808	△3.4	-	△2.5	△2.7	96.6	96.6	94.2	91.7
患者数 (一日平均、人)		2,189	2,177	2,148	2,120	2,087	△0.5	△1.3	△1.3	△1.6	99.5	98.1	96.9	95.3
内 訳	入 院 患 者 数	529	542	519	531	540	2.5	△4.4	2.3	1.7	102.5	98.1	100.3	102.1
	外 来 患 者 数	1,660	1,635	1,629	1,591	1,547	△1.5	△0.3	△2.4	△2.7	98.5	98.2	95.8	93.2
病 床 利 用 率 (%)		60.0	63.7	60.9	63.9	65.0	3.7	△2.8	3.0	1.1	106.1	101.4	106.4	108.3
外来入院患者比率 (%)		212.4	203.5	212.8	202.6	193.7	△8.9	9.3	△10.2	△8.9	95.8	100.2	95.4	91.2
年 度 末 職 員 数 (人)		1210	1,203	1,198	1,208	1,213	△0.6	△0.4	0.8	0.4	99.4	99.0	99.8	100.2
内 訳	医 師 数	102	97	97	111	108	△4.9	-	14.4	△2.7	95.1	95.1	108.8	105.9
	看 護 部 門 職 員 数	607	591	584	583	590	△2.6	△1.2	△0.2	1.2	97.4	96.2	96.0	97.2
	事 務 そ の 他 職 員 数	501	515	517	514	515	2.8	0.4	△0.6	0.2	102.8	103.2	102.6	102.8

(注) 病床利用率、外来入院患者比率の対前年度増減率は増減ポイントを示す。

② 収益的収支の状況

総収益は148億9,339万円であり、前年度（148億962万円）に比べて8,377万円（0.6%）増加した。また、総費用は155億7,806万円、前年度（155億4,071万円）から3,735万円（0.2%）増加した（第11表）。

結果として、全体で6億8,467万円の純損失が発生し、前年度（7億3,109万円）と比較すると、4,642万円（6.3%）減少した。

収益の内訳を見ると、料金収入は105億7,426万円で、前年度（102億3,543万円）より3億3,883万円（3.3%）増加した。

また、他会計繰入金は、30億9,672万円で前年度（29億7,098万円）より、1億2,574万円（4.2%）増加した。

次に、費用の内訳を見ると、職員給与費は86億2,255万円で前年度（80億6,901万円）より5億5,354万円（6.9%）増加した。減価償却費は10億4,578万円で前年度（10億3,099万円）より1,479万円（1.4%）増加した。材料費は17億9,961万円で前年度（17億9,769万円）より192万円（0.1%）増加した。

純利益を生じた病院数は3病院であり、純損失を生じた病院数は9病院となった。

累積欠損金を有する事業数は10事業であり前年度より1事業増加した。

その額は51億6,942万円で、前年度（49億525万円）に比べて2億6,417万円（5.4%）増加した。

なお、不良債務を有する事業は1事業であった。

第11表 病院事業の決算状況の推移

項目		年度					対前年度増減率			
		R2	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6
総 収 益	(A)	14,981,972	15,146,343	15,913,879	14,809,623	14,893,391	1.1	5.1	△6.9	0.6
経 常 収 益	(B)	14,400,403	14,739,217	15,877,625	14,778,257	14,862,735	2.4	7.7	△6.9	0.6
医 業 収 益	(C)	10,917,811	11,256,813	11,451,009	11,324,046	11,606,778	3.1	1.7	△1.1	2.5
うち料金収入		9,769,099	10,014,976	10,265,890	10,235,428	10,574,259	2.5	2.5	△0.3	3.3
他会計繰入金		2,719,407	2,798,901	2,898,916	2,970,984	3,096,717	2.9	3.6	2.5	4.2
総 費 用	(D)	15,114,106	15,249,548	15,140,592	15,540,711	15,578,062	0.9	△0.7	2.6	0.2
経 常 費 用	(E)	14,857,695	14,937,970	15,120,088	14,927,151	15,536,771	0.5	1.2	△1.3	4.1
医 業 費 用		13,814,095	14,063,373	14,457,806	14,256,624	14,925,413	1.8	2.8	△1.4	4.7
うち職員給与費		7,924,585	8,035,454	8,167,879	8,069,007	8,622,554	1.4	1.6	△1.2	6.9
うち減価償却費		957,032	1,059,384	1,051,100	1,030,987	1,045,784	10.7	△0.8	△1.9	1.4
うち材料費		1,688,349	1,679,504	1,893,222	1,797,693	1,799,606	△0.5	12.7	△5.0	0.1
経 常 損 益	(B) - (E)	△457,292	△198,753	757,537	△148,894	△674,036	56.5	-	-	△352.7
純 損 益	(A) - (D)	△132,134	△103,205	773,287	△731,088	△684,671	21.9	-	-	6.3
累 積 欠 損 金	(F)	6,098,355	6,078,774	4,742,713	4,905,250	5,169,421	△0.3	△22.0	3.4	5.4
不 良 債 務	(G)	81,136	227,033	286,660	0	10,281	179.8	26.3	皆減	皆増
経常収支比率	(B) / (E)	96.9	98.7	105.0	99.0	95.7	1.8	6.3	△6.0	△3.3
総収支比率	(A) / (D)	99.1	99.3	105.1	95.3	95.6	0.2	5.8	△9.8	0.3
累積欠損金比率	(F) / (C)	55.9	54.0	41.4	43.3	44.5	△1.9	△12.6	1.9	1.2
不良債務比率	(G) / (C)	0.7	2.0	2.5	0.0	0.1	1.3	0.5	△2.5	0.1
総 事 業 数	(H)	13	12	12	12	10	△7.7	-	-	△16.7
病 院 数	(I)	13	12	12	12	12	△7.7	-	-	-
純損失を生じた事業数	(J)	7	4	7	7	7	△42.9	75.0	-	-
累積欠損金を有する事業数	(K)	10	10	8	9	10	-	△20.0	12.5	11.1
不良債務を有する事業数	(L)	1	1	1	0	1	-	-	皆減	皆増
総事業数に対する割合（建設中を除く）	純損失を生じた病院数 (J) / (I)	53.8	33.3	58.3	58.3	58.3	△20.5	25.0	-	-
	累積欠損金を有する病院数 (K) / (I)	76.9	83.3	66.7	75.0	83.3	6.4	△16.6	8.3	8.3
	不良債務を有する病院数 (L) / (I)	7.7	8.3	8.3	0.0	8.3	0.6	-	△8.3	8.3

（注）1 他会計繰入金は、経常収益及び特別利益に係る他会計繰入金を含んでいる。

2 累積欠損金は、累積欠損金を生じた団体の合計である。

3 各比率、割合の対前年度増減率は増減ポイントを示す。

③ 資本的収支の状況

令和6年度の資本的支出は20億8,635万円で、前年度(18億2,295万円)に比べて2億6,340万円(14.4%)増加した(第12表)。

内訳を見ると、建設改良費は8億6,369万円で、前年度(6億3,600万円)に比べて2億2,769万円(35.8%)増加した。また、企業債償還金は10億908万円で、前年度(9億8,167万円)に比べて2,741万円(2.8%)増加した。

なお、資本的収入は13億4,436万円で、前年度(13億756万円)に比べて3,680万円(2.8%)増加した。

第12表 病院事業の資本的収支の推移

(単位：千円、%)

項目	年度	R2	R3	R4	R5	R6	対前年度増減率			
							R3	R4	R5	R6
資本的支出(A)		2,503,688	1,702,970	2,674,414	1,822,946	2,086,346	△32.0	57.0	△31.8	14.4
建設改良費		1,491,837	640,312	548,930	636,000	863,692	△57.1	△14.3	15.9	35.8
企業債償還		876,360	961,244	2,022,122	981,673	1,009,080	9.7	110.4	△51.5	2.8
その他		135,491	101,414	103,362	205,273	213,574	△25.2	1.9	98.6	4.0
内部資金(B)		493,854	585,858	791,289	662,828	586,978	18.6	35.1	△16.2	△11.4
外部資金(C)		1,952,697	1,015,366	1,789,178	1,160,118	1,305,072	△48.0	76.2	△35.2	12.5
同 上 財 源	企業債	464,000	184,200	100,000	180,100	404,300	△60.3	△45.7	80.1	124.5
	国県補助金	738,683	119,015	111,246	42,878	105,008	△83.9	△6.5	△61.5	144.9
	他会計出資金	112,732	78,560	133,168	180,449	64,661	△30.3	69.5	35.5	△64.2
	他会計負担金	376,395	622,513	494,264	604,136	770,025	65.4	△20.6	22.2	27.5
	他会計借入金	0	0	920,600	300,000	0	-	皆増	△67.4	皆減
	他会計補助金	37,042	28,100	0	0	0	△24.1	皆減	-	-
	繰入金計	526,169	729,173	1,548,032	1,084,585	834,686	38.6	112.3	△29.9	△23.0
	計	2,446,551	1,601,224	2,580,467	1,822,946	1,892,050	△34.6	61.2	△29.4	3.8
財源不足額(A)-(B)-(C)		57,137	101,746	93,947	0	194,296	78.1	△7.7	皆減	皆増

- (注) 1 内部資金：補填財源合計額－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金
2 外部資金：資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)
3 外部資金の内訳は、翌年度繰越事業の財源となる分等を含んでいる。

④ 料金収入の状況

料金収入は、105億7,426万円であり、前年度(102億3,543万円)より3億3,883万円(3.3%)増加した(第13表)。

患者1人当たりでは、入院分が35,540円で、前年度(33,554円)より1,986円(5.9%)増加し、外来分が9,368円で、前年度(9,524円)より156円(1.6%)減少した。

なお、1日当たりの患者数は入院患者数が540人で、前年度(531人)より9人(1.7%)増加し、外来患者数が1,547人で、前年度(1,591人)より44人(2.8%)減少した。

第13表 料金収入の推移

(単位：千円、人、%)											
年度 項目			R2	R3	R4	R5	R6	対前年度増減率			
								R3	R4	R5	R6
料	金 収 入		9,769,099	10,014,976	10,265,890	10,235,428	10,574,259	2.5	2.5	△0.3	3.3
	内 訳	入 院 収 益	6,240,437	6,445,755	6,371,481	6,498,058	6,999,969	3.3	△1.2	2.0	7.7
		外 来 収 益	3,528,662	3,569,221	3,894,409	3,737,370	3,574,290	1.2	9.1	△4.0	△4.4
年 延 入 院 患 者 数			193,093	197,933	189,303	193,659	196,962	2.5	△4.4	2.3	1.7
年 延 外 来 患 者 数			410,151	402,733	402,918	392,433	381,538	△1.8	0.1	△2.6	△2.8
1 日 当 た り 患 者 数			2,189	2,177	2,148	2,120	2,121	△0.5	△1.3	△1.3	0.1
	内 訳	入 院 患 者 数	529	542	519	531	540	2.5	△4.4	2.3	1.7
		外 来 患 者 数	1,660	1,635	1,629	1,591	1,547	△1.5	△0.3	△2.4	△2.8
病 床 利 用 率			60.0	63.7	60.9	63.9	65.0	3.7	△2.8	3.0	1.1
患者1人1日当たり 収入額（円）		入院	32,318	32,565	33,658	33,554	35,540	0.8	3.4	△0.3	5.9
		外来	8,603	8,862	9,666	9,524	9,368	3.0	9.1	△1.5	△1.6

(注) 病床利用率の対前年度増減率は増減ポイントを示す。

⑤ 他会計繰入金の状況

収益的収支における他会計繰入金は、30億9,672万円で、前年度（29億7,098万円）に比べて1億2,574万円（4.2%）増加した。このうち基準外繰入金は2億3,802万円で、前年度（3億3,840万円）に比べて1億38万円（29.7%）減少した（第14表）。

一方、資本的収支における他会計繰入金は、8億3,469万円で、前年度（10億8,459万円）に比べて2億4,990万円（23.0%）減少した。このうち、基準外繰入金は3,197万円で、前年度（3億円）に比べて2億6803万円（89.3%）減少となった。

第14表 他会計繰入金の状況

区 分	実 繰 入 額			基 準 内 繰 入 額			基 準 外 繰 入 額		
	R5	R6	増減率	R5	R6	増減率	R5	R6	増減率
収 益 的 収 支	2,970,984	3,096,717	4.2	2,632,587	2,858,695	8.6	338,397	238,022	△29.7
資 本 的 収 支	1,084,585	834,686	△23.0	784,585	802,713	2.3	300,000	31,973	△89.3
合 計	4,055,569	3,931,403	△3.1	3,417,172	3,661,408	7.1	638,397	269,995	△57.7

⑥ 公営企業型地方独立行政法人の決算状況等

公営企業型地方独立行政法人は、県内に1法人のみであり、病院事業を行う西都児湯医療センターがある。同センターは、西都市が設立団体となっており、平成28年4月1日から運営を開始している。

令和6年度における決算状況等は以下のとおりである。

第15表 病院事業（地方独立行政法人）の病床数・患者数等の推移

年度 項目		R2	R3	R4	R5	R6	対前年度増減率				伸長指数 (R2=100)			
							R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6
病 床 数 (床)		91	91	91	91	91	-	-	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0
患者数（一日平均、人）		96.8	99.7	111.7	83.3	87.6	3.0	12.0	△25.4	5.2	103.0	115.4	86.1	90.5
内 入 院 患 者 数 訳 外 来 患 者 数	内 入 院 患 者 数	31.6	34.7	37.2	27.5	37.4	9.8	7.2	△26.1	36.0	109.8	117.7	87.0	118.4
	訳 外 来 患 者 数	65.2	65.0	74.5	55.8	50.2	△0.3	14.6	△25.1	△10.0	99.7	114.3	85.6	77.0
病 床 利 用 率 (%)		45.8	50.3	40.9	30.2	41.1	4.5	△9.4	△10.7	10.9	109.8	89.3	65.9	89.7
外来入院患者比率 (%)		138.9	124.3	135.0	134.9	89.4	△14.6	10.7	△0.1	△45.5	89.5	97.2	97.1	64.4
年 度 末 職 員 数 (人)		91	88	86	84	82	△3.3	△2.3	△2.3	△2.4	96.7	94.5	92.3	90.1
内 医 師 数 訳 看 護 部 門 職 員 数 事 務 そ の 他 職 員 数	内 医 師 数	2	3	4	2	3	50.0	33.3	△50.0	50.0	150.0	200.0	100.0	150.0
	訳 看 護 部 門 職 員 数	54	52	48	49	46	△3.7	△7.7	2.1	△6.1	96.3	88.9	90.7	85.2
	事 務 そ の 他 職 員 数	35	33	34	33	33	△5.7	3.0	△2.9	-	94.3	97.1	94.3	94.3

（注）病床利用率、外来入院患者比率の対前年度増減率は増減ポイントを示す。

第16表 病院事業（地方独立行政法人）の決算状況の推移

（単位：千円、％）

年度 項目		R2	R3	R4	R5	R6	対前年度増減率			
							R3	R4	R5	R6
総 収 益 (A)		974,779	1,088,615	1,358,617	965,050	1,036,131	11.7	24.8	△29.0	7.4
経 常 収 益 (B)	経 常 収 益 (B)	974,742	1,088,614	1,358,588	965,049	1,035,819	11.7	24.8	△29.0	7.3
	営 業 収 益 (C)	753,556	812,413	931,528	711,222	842,159	7.8	14.7	△23.6	18.4
	うち料金収入	719,891	767,934	888,082	668,450	795,350	6.7	15.6	△24.7	19.0
	運営費負担金及び交付金	107,135	165,876	133,789	139,557	191,066	54.8	△19.3	4.3	36.9
総 費 用 (D)		1,175,258	1,183,183	1,237,793	1,118,030	1,183,714	0.7	4.6	△9.7	5.9
経 常 費 用 (E)	経 常 費 用 (E)	1,171,571	1,181,726	1,232,992	1,108,184	1,181,803	0.9	4.3	△10.1	6.6
	営 業 費 用	1,127,998	1,142,532	1,188,584	1,064,918	1,142,419	1.3	4.0	△10.4	7.3
	うち職員給与費	680,706	693,872	712,367	657,241	665,676	1.9	2.7	△7.7	1.3
	うち減価償却費	52,022	55,973	43,375	41,948	61,641	7.6	△22.5	△3.3	46.9
	うち材料費	201,672	198,139	221,181	177,063	215,303	△1.8	11.6	△19.9	21.6
経 常 損 益 (B) - (E)		86,824	△196,829	△93,112	125,596	△145,984	△326.7	52.7	234.9	△216.2
純 損 益 (A) - (D)		79,142	△200,479	△94,568	120,824	△147,583	△353.3	52.8	227.8	△222.1
繰 越 欠 損 金 (F)		0	0	0	-24,446	-172,030	-	-	皆減	△603.7
不 良 債 務 (G)		0	0	0	0	0	-	-	-	-
経常収支比率 (B) / (E)		106.2	83.2	92.1	110.2	87.6	△23.0	8.9	18.1	△22.6
総収支比率 (A) / (D)		105.6	82.9	92.0	109.8	87.5	△22.7	9.1	17.8	△22.3
繰越欠損金比率 (F) / (C)		0.0	0.0	0.0	0.0	-20.4	-	-	-	皆増
不良債務比率 (G) / (C)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-

（注）1 運営費負担金及び交付金には、経常収益及び特別利益に係る他会計繰入金を含んでいる。

2 各比率の対前年度増減率は増減ポイントを示す。

第17表 病院事業（地方独立行政法人）の資本的収支の推移

(単位：千円、%)

年度 項目		R2	R3	R4	R5	R6	対前年度増減率			
							R3	R4	R5	R6
資 本 的 支 出 (A)		95,981	34,746	18,216	116,907	25,476	△63.8	△47.6	541.8	△78.2
	建 設 改 良 費	68,332	12,623	10,407	109,171	3,675	△81.5	△17.6	949.0	△96.6
	長 期 借 入 金 償 還	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	そ の 他	27,649	22,123	7,809	7,736	21,801	△20.0	△64.7	△0.9	181.8
同 上 財 源	内 部 資 金 (B)	53,804	27,807	18,216	11,958	0	△48.3	△34.5	△34.4	皆減
	外 部 資 金 (C)	42,177	6,939	0	104,949	0	△83.5	皆減	皆増	皆減
	長 期 借 入 金	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	国 県 補 助 金	42,177	6,939	0	26,850	0	△83.5	皆減	皆増	皆減
	負 担 金 等	0	0	0	78,099	0	-	-	皆増	皆減
	運 営 費 交 付 金	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	小 計	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	計	104,705	95,981	34,746	18,216	0	△8.3	△63.8	△47.6	皆減
財 源 不 足 額 (A)-(B)-(C)		0	0	0	0	25,476	-	-	-	皆増

(注) 1 内部資金：補填財源合計額－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2 外部資金：資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)

3 外部資金の内訳は、翌年度繰越事業の財源となる分等を含んでいる。

第18表 病院事業（地方独立行政法人）の料金収入の推移

(単位：千円、人、%)

年 度 項 目		R2	R3	R4	R5	R6	対前年度増減率			
							R3	R4	R5	R6
料 金 収 入		719,891	767,934	888,082	668,450	795,350	6.7	15.6	△24.7	19.0
内 訳	入 院 収 益	423,485	560,123	560,123	441,052	559,247	32.3	0.0	△21.3	26.8
	外 来 収 益	296,406	275,668	327,959	227,398	236,103	△7.0	19.0	△30.7	3.8
年 延 入 院 患 者 数		11,543	12,665	13,574	10,048	13,657	9.7	7.2	△26.0	35.9
年 延 外 来 患 者 数		16,034	15,740	18,329	13,558	12,209	△1.8	16.4	△26.0	△9.9
1 日 当 た り 患 者 数		147.2	96.8	99.7	111.7	87.6	△34.2	3.0	12.0	△21.6
内 訳	入 院 患 者 数	58.9	31.6	34.7	37.2	37.4	△46.3	9.8	7.2	0.5
	外 来 患 者 数	88.3	65.2	65.0	74.5	50.2	△26.2	△0.3	14.6	△32.6
病 床 利 用 率		64.7	45.8	50.3	40.9	41.1	△18.9	4.5	△9.4	0.2
患者1人1日当たり 収入額（円）	入 院	42,503	36,688	44,226	41,264	40,949	△13.7	20.5	△6.7	△0.8
	外 来	17,364	18,486	17,514	17,893	19,338	6.5	△5.3	2.2	8.1

(注) 病床利用率の対前年度増減率は増減ポイントを示す。

第19表 病院事業（地方独立行政法人）の運営費負担金及び交付金の状況

(単位：千円、%)

区 分	負 担 金 等 の 額			基 準 内			基 準 外		
	R5	R6	増減率	R5	R6	増減率	R5	R6	増減率
収 益 的 収 支	139,557	191,066	36.9	139,557	191,066	36.9	0	0	-
資 本 的 収 支	78,099	0	皆減	78,099	0	皆減	0	0	-
合 計	217,656	191,066	△12.2	217,656	191,066	△12.2	0	0	-

(5) 下水道事業

① 公共下水道事業

ア 事業数及び利用状況

県内市町村の公共下水道事業は、令和6年度末現在で14事業あり、処理区域内人口は624,850人で、行政区域内人口(951,743人)に対する普及率は65.7%である。水洗便所設置済人口は、577,116人であり、水洗化率は92.4%である。

イ 収益的収支の状況

令和6年度の総収益は206億3,530万円であり、総費用は200億3,968万円である。なお、経常収支比率は102.9%であるが、繰出基準に基づかない基準外繰入金を控除すると4団体が黒字であるものの、10団体は赤字である(第20表)。

ウ 資本的収支の状況

令和6年度の資本的支出は、建設改良費101億3,228万円、企業債償還金110億3,305万円、その他129万円を合わせて211億6,662万円である(第21表)。

第20表 公共下水道事業(法適)の決算状況の推移

(単位: 千円、%)

項目	年度	2	3	4	5	6	対前年度増減率			
							3	4	5	6
総 収 益 (A)		18,907,743	18,505,110	18,886,795	19,675,913	20,635,300	△2.1	2.1	4.2	4.9
経 常 収 益 (B)		18,888,314	18,492,833	18,881,230	19,654,984	20,601,800	△2.1	2.1	4.1	4.8
営業収益 (C)		10,291,380	10,324,581	10,265,471	10,403,732	10,767,215	0.3	△0.6	1.3	3.5
うち料金収入		8,400,590	8,392,578	8,326,913	8,537,400	8,862,382	△0.1	△0.8	2.5	3.8
他会計繰入金		5,427,685	5,098,402	5,565,710	5,881,649	6,238,886	△6.1	9.2	5.7	6.1
総 費 用 (D)		18,457,548	18,340,222	18,485,097	19,115,121	20,039,679	△0.6	0.8	3.4	4.8
経 常 費 用 (E)		18,445,443	18,324,614	18,470,521	19,097,145	20,018,546	△0.7	0.8	3.4	4.8
営業費用		16,348,298	16,445,393	16,787,229	17,484,666	18,459,578	0.6	2.1	4.2	5.6
うち職員給与費		811,910	827,590	823,951	932,345	999,008	1.9	△0.4	13.2	7.2
うち減価償却費		11,271,252	11,218,822	11,177,840	11,680,607	12,111,547	△0.5	△0.4	4.5	3.7
うち材料費		2,885	3,838	5,717	7,138	7,392	33.0	49.0	24.9	3.6
経 常 損 益 (B) - (E)		442,871	168,219	410,709	557,839	583,254	△62.0	144.2	35.8	4.6
純 損 益 (A) - (D)		450,195	164,888	401,698	560,792	595,621	△63.4	143.6	39.6	6.2
累 積 欠 損 金 (F)		0	67,453	35,961	0	0	皆増	△46.7	皆減	-
不 良 債 務 (G)		0	0	0	0	0	-	-	-	-
経常収支比率 (B) / (E)		102.4	100.9	102.2	102.9	102.9	△1.5	1.3	0.7	-
総収支比率 (A) / (D)		102.4	100.9	102.2	102.9	103.0	△1.5	1.3	0.7	0.1
累積欠損金比率 (F) / (C)		0.0	0.7	0.4	0.0	0.0	皆増	△0.3	皆減	-
不良債務比率 (G) / (C)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
総 事 業 数 (H)		7	7	7	10	14	-	-	42.9	40.0
純損失を生じた事業数 (I)		0	2	0	1	0	皆増	皆減	皆増	皆減
累積欠損金を有する事業数 (J)		0	2	1	0	0	皆増	△50.0	皆減	-
不良債務を有する事業数 (K)		0	0	0	0	0	-	-	-	-
総事業数に対する割合(建設中を除く)	純損失を生じた事業数 (I) / (H)	0.0	28.6	0.0	10.0	0.0	皆増	皆減	皆増	皆減
	累積欠損金を有する事業数 (J) / (H)	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	皆増	△14.3	皆減	-
	不良債務を有する事業数 (K) / (H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-

- (注) 1 他会計繰入金は、経常収益及び特別利益に係る他会計繰入金を含んでいる。
2 累積欠損金は、累積欠損金を生じた団体の合計である。
3 各比率、割合の対前年度増減率は増減ポイントを示す。
4 令和6年度から串間市、三股町、綾町、川南町が追加。

第21表 公共下水道事業（法適）の資本的収支の推移

(単位：千円、%)

項目	年度	2	3	4	5	6	対前年度増減率			
							3	4	5	6
資本的支出	建設改良費	7,427,948	8,163,010	8,409,977	9,044,621	10,132,281	9.9	3.0	7.5	12.0
	企業債償還金	10,550,894	10,706,735	10,812,282	11,029,019	11,033,051	1.5	1.0	2.0	0.0
	その他	5	1	1	1,402	1,286	△80.0	-	140,100.0	△8.3
	計 (A)	17,978,847	18,869,746	19,222,260	20,075,042	21,166,618	5.0	1.9	4.4	5.4
同 上 財 源	内部資金 (B)	7,175,299	7,116,258	7,304,669	7,770,338	7,884,450	△0.8	2.6	6.4	1.5
	外部資金 (C)	10,764,548	11,642,788	11,702,391	12,237,104	13,199,668	8.2	0.5	4.6	7.9
	企業債	6,372,100	6,462,900	6,645,500	6,788,200	7,525,800	1.4	2.8	2.1	10.9
	国・県補助金	2,934,331	3,122,750	3,262,163	3,509,450	4,023,048	6.4	4.5	7.6	14.6
	他会計出資金	1,615,217	1,712,126	1,739,138	1,812,992	1,357,759	6.0	1.6	4.2	△25.1
	他会計負担金	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	他会計借入金	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	他会計補助金	98,263	95,448	73,976	161,164	172,200	△2.9	△22.5	117.9	6.8
	繰入金計	1,713,480	1,807,574	1,813,114	1,974,156	1,529,959	5.5	0.3	8.9	△22.5
	計 (B)+(C)	17,939,847	18,759,046	19,007,060	20,007,442	21,084,118	4.6	1.3	5.3	5.4
財源不足額 (A)-(B)-(C)		39,000	110,700	215,200	67,600	82,500	183.8	94.4	△68.6	22.0

(注) 1. 内部資金：補填財源合計額－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2. 外部資金：資本的支出額－（内部資金＋補填財源不足額）

エ 経費と財源

管理運営費（維持管理費と資本費を合算した額）は、200 億 1,765 万円で、内訳は汚水処理費 98 億 1560 万円（49.0%）、雨水処理費 18 億 4410 万円（9.2%）、長期前受金戻入分 51 億 3,244 万円（25.7%）、その他 32 億 2,551 万円（16.1%）となっている。

汚水処理費を年間有収水量で除して算出した 1 m³当たり処理原価は、152 円 79 銭（維持管理費 81 円 27 銭、資本費 71 円 52 銭）となっており、使用料単価（使用料収入を年間有収水量で除して算出した額）137 円 95 銭は、処理原価の 90.3%である。これは、処理原価の約 9 割が使用料で回収され、残りの約 1 割が一般会計からの繰入金等によって補填されていることを示している。

オ 他会計繰入金の状況

収益的収支における他会計繰入金は、62 億 3,889 万円で、前年度（58 億 8,165 万円）に比べて 3 億 5,724 万円（6.1%）増加した。このうち基準外繰入金は 19 億 8,800 万円で、前年度（17 億 5,299 万円）に比べて 2 億 3,501 万円（13.4%）増加した。

一方、資本的収支における他会計繰入金は 15 億 2,996 万円で、前年度（19 億 7,416 万円）に比べて 4 億 4,420 万円（22.5%）減少した。このうち基準外繰入金は 4 億 1,324 万円で、前年度（5 億 6,435 万円）に比べて 1 億 5,111 万円（26.8%）減少した。

② 特定環境保全公共下水道事業

ア 事業数及び利用状況

県内市町村の特定環境保全公共下水道事業は、令和6年度末現在で6事業あり、処理区域内人口は22,348人で、行政区域内人口（600,029人）に対する普及率は3.7%である。水洗便所設置済人口は19,446人であり、水洗化率は87.0%である。

イ 収益的収支の状況

令和6年度の総収益は10億688万円、総費用は10億1,993万円、純利益が4,891万円である（第22表）。

なお、基準外繰入金を控除した場合、5団体全てにおいて赤字である。

ウ 資本的収支の状況

令和6年度の資本的支出は、建設改良費8,880万円、企業債償還金7億1,188万円、その他58万円、合わせて8億126万円である（第23表）。

第22表 特定環境保全公共下水道事業（法適）の決算状況の推移

（単位：千円、％）

項目	年度	2	3	4	5	6	対前年度増減率			
							3	4	5	6
総 収 益	(A)	835,507	859,006	852,353	1,136,262	1,068,846	2.8	△0.8	33.3	△5.9
経 常 収 益	(B)	835,470	858,597	852,305	1,131,981	1,068,730	2.8	△0.7	32.8	△5.6
営業収益	(C)	312,764	336,643	326,878	368,744	378,737	7.6	△2.9	12.8	2.7
うち料金収入		312,764	336,549	326,878	368,642	378,117	7.6	△2.9	12.8	2.6
他会計繰入金		313,423	314,898	320,858	461,771	423,400	0.5	1.9	43.9	△8.3
総 費 用	(D)	814,344	815,857	825,820	1,102,730	1,019,934	0.2	1.2	33.5	△7.5
経 常 費 用	(E)	813,457	815,378	825,555	1,102,073	1,019,001	0.2	1.2	33.5	△7.5
営 業 費 用		683,063	693,564	715,050	979,502	905,785	1.5	3.1	37.0	△7.5
うち職員給与費		30,015	31,473	34,236	40,598	38,430	4.9	8.8	18.6	△5.3
うち減価償却費		487,351	480,958	491,261	696,639	605,807	△1.3	2.1	41.8	△13.0
うち材料費		117	172	242	336	305	47.0	40.7	38.8	△9.2
経 常 損 益	(B) - (E)	22,013	43,219	26,750	29,908	49,729	96.3	△38.1	11.8	66.3
純 損 益	(A) - (D)	21,163	43,149	26,533	33,532	48,912	103.9	△38.5	26.4	45.9
累 積 欠 損 金	(F)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
不 良 債 務	(G)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
経常収支比率	(B) / (E)	102.7	105.3	103.2	102.7	104.9	2.6	△2.1	△0.5	2.2
総収支比率	(A) / (D)	102.6	105.3	103.2	103.0	104.8	2.7	△2.1	△0.2	1.8
累積欠損金比率	(F) / (C)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
不良債務比率	(G) / (C)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
総 事 業 数	(H)	4	4	4	5	6	-	-	25.0	20.0
純損失を生じた事業数	(I)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
累積欠損金を有する事業数	(J)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
不良債務を有する事業数	(K)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
総事業数に対する割合（建設中を除く）	純損失を生じた事業数 (I) / (H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
	累積欠損金を有する事業数 (J) / (H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
	不良債務を有する事業数 (K) / (H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-

- （注） 1 他会計繰入金は、経常収益及び特別利益に係る他会計繰入金を含んでいる。
2 累積欠損金は、累積欠損金を生じた団体の合計である。
3 各比率、割合の対前年度増減率は増減ポイントを示す。
4 令和6年度から西米良村が追加。

第23表 特定環境保全公共下水道事業（法適）の資本的収支の推移

(単位: 千円、%)

項目 \ 年度		2	3	4	5	6	対前年度増減率			
							3	4	5	6
資本的支出	建設改良費	42,770	100,573	77,316	343,866	88,801	135.1	△23.1	344.8	△74.2
	企業債償還金	602,206	602,635	635,129	714,218	711,876	0.1	5.4	12.5	△0.3
	その他	0	0	0	0	583	-	-	-	皆増
	計 (A)	644,976	703,208	712,445	1,058,084	801,260	9.0	1.3	48.5	△24.3
同 上 財 源	内部資金 (B)	293,766	258,758	301,638	370,665	428,866	△11.9	16.6	22.9	15.7
	外部資金 (C)	351,210	444,450	410,807	687,419	372,094	26.5	△7.6	67.3	△45.9
	うち									
	企業債	60,800	104,000	85,600	226,900	92,300	71.1	△17.7	165.1	△59.3
	国・県補助金	9,197	40,001	26,016	164,142	20,274	334.9	△35.0	530.9	△87.6
	繰入									
	他会計出資金	235,491	252,918	259,691	251,017	239,014	7.4	2.7	△3.3	△4.8
	他会計負担金	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	他会計借入金	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	他会計補助金	45,722	37,531	29,500	35,000	13,139	△17.9	△21.4	18.6	△62.5
財 源 不 足 額	繰入金計	281,213	290,449	289,191	286,017	252,153	3.3	△0.4	△1.1	△11.8
	計 (B)+(C)	644,976	703,208	712,445	1,058,084	800,960	9.0	1.3	48.5	△24.3
財源不足額 (A)-(B)-(C)		0	0	0	0	300	-	-	-	皆増

③ 農業集落排水事業

ア 事業数及び利用状況

県内市町村の農業集落排水事業は、令和6年度末現在で12事業あり、処理区域内人口は40,045人で、行政区域内人口（858,659人）に対する普及率は4.7%である。水洗便所設置済人口は34,249人であり、水洗化率は85.5%である。

イ 収益的収支の状況

令和6年度の総収益は21億1万円、総費用は19億8,858万円、純利益が1億1,143万円生じた（第24表）。

なお、基準外繰入金を控除した場合、12団体全てにおいて赤字である。

ウ 資本的収支の状況

令和6年度の資本的支出は、建設改良費2億9,491万円、企業債償還金10億9,608万円を合わせて13億9,098万円である（第25表）。

第24表 農業集落排水事業（法適）の決算状況の推移

（単位：千円、％）

項目	年度	2	3	4	5	6	対前年度増減率			
							3	4	5	6
総 収 益	(A)	1,886,800	1,727,432	1,700,804	1,615,237	2,100,007	△8.4	△1.5	△5.0	30.0
経 常 収 益	(B)	1,882,766	1,717,532	1,699,671	1,612,717	2,099,283	△8.8	△1.0	△5.1	30.2
営業収益	(C)	370,288	369,399	358,801	359,705	484,412	△0.2	△2.9	0.3	34.7
うち料金収入		370,014	369,097	358,475	357,426	483,936	△0.2	△2.9	△0.3	35.4
他会計繰入金		1,042,906	894,389	867,975	832,042	1,028,253	△14.2	△3.0	△4.1	23.6
総 費 用	(D)	1,731,521	1,616,755	1,602,291	1,514,371	1,988,580	△6.6	△0.9	△5.5	31.3
経 常 費 用	(E)	1,720,144	1,615,555	1,602,166	1,513,849	1,979,894	△6.1	△0.8	△5.5	30.8
営業費用		1,520,091	1,442,178	1,447,120	1,378,307	1,841,224	△5.1	0.3	△4.8	33.6
うち職員給与費		63,703	65,032	65,992	64,479	111,849	2.1	1.5	△2.3	73.5
うち減価償却費		970,563	933,059	892,037	856,068	1,109,869	△3.9	△4.4	△4.0	29.6
うち材料費		0	0	0	0	0	-	-	-	-
経 常 損 益	(B) - (E)	162,622	101,977	97,505	98,868	119,389	△37.3	△4.4	1.4	20.8
純 損 益	(A) - (D)	155,279	110,677	98,513	100,866	111,427	△28.7	△11.0	2.4	10.5
累 積 欠 損 金	(F)	0	0	0	0	428	-	-	-	皆増
不 良 債 務	(G)	0	0	0	0	7,786	-	-	-	皆増
経常収支比率	(B) / (E)	109.5	106.3	106.1	106.5	106.0	△3.2	△0.2	0.4	△0.5
総収支比率	(A) / (D)	109.0	106.8	106.1	106.7	105.6	△2.2	△0.7	0.6	△1.1
累積欠損金比率	(F) / (C)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	-	-	-	皆増
不良債務比率	(G) / (C)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	-	-	-	皆増
総 事 業 数	(H)	5	5	5	5	12	-	-	-	140.0
純損失を生じた事業数	(I)	0	0	0	0	1	-	-	-	皆増
累積欠損金を有する事業数	(J)	0	0	0	0	1	-	-	-	皆増
不良債務を有する事業数	(K)	0	0	0	0	1	-	-	-	皆増
総事業数に対する割合（建設中を除く）	純損失を生じた事業数 (I) / (H)	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	-	-	-	皆増
	累積欠損金を有する事業数 (J) / (H)	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	-	-	-	皆増
	不良債務を有する事業数 (K) / (H)	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	-	-	-	皆増

- （注） 1 他会計繰入金は、経常収益及び特別利益に係る他会計繰入金を含んでいる。
2 累積欠損金は、累積欠損金を生じた団体の合計である。
3 各比率、割合の対前年度増減率は増減ポイントを示す。
4 令和6年度から小林市、串間市、三股町、高原町、綾町、美郷町、日之影町が追加。

第25表 農業集落排水事業（法適）の資本的収支の推移

(単位：千円、%)

項目 \ 年度		2	3	4	5	6	対前年度増減率			
							3	4	5	6
資本的支出	建設改良費	51,013	78,400	56,984	111,099	294,907	53.7	△27.3	95.0	165.4
	企業債償還金	940,862	954,547	933,697	912,069	1,096,076	1.5	△2.2	△2.3	20.2
	その他	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	計 (A)	991,875	1,032,947	990,681	1,023,168	1,390,983	4.1	△4.1	3.3	35.9
同 上 財 源	内部資金 (B)	542,950	480,049	475,561	470,098	685,038	△11.6	△0.9	△1.1	45.7
	外部資金 (C)	448,925	552,898	513,920	553,070	705,945	23.2	△7.0	7.6	27.6
	企業債	153,800	236,400	233,300	241,800	328,500	53.7	△1.3	3.6	35.9
	国・県補助金	10,420	22,679	9,760	54,028	107,091	117.6	△57.0	453.6	98.2
	他会計出資金	283,032	287,273	265,918	253,460	248,533	1.5	△7.4	△4.7	△1.9
	他会計負担金	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	他会計借入金	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	他会計補助金	0	0	0	0	15,745	-	-	-	皆増
	繰入金計	283,032	287,273	265,918	253,460	264,278	1.5	△7.4	△4.7	4.3
	計 (B)+(C)	991,875	1,032,947	989,481	1,023,168	1,390,983	4.1	△4.2	3.4	35.9
財源不足額 (A)-(B)-(C)		0	0	1,200	0	0	-	皆増	皆減	-

(注) 1. 内部資金：補填財源合計額－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2. 外部資金：資本的支出額－（内部資金＋補填財源不足額）

④ 漁業集落排水事業

ア 事業数及び利用状況

県内市町村の漁業集落排水事業は、令和6年度末現在で4事業あり、処理区域内人口は2,082人で、行政区域内人口（190,772人）に対する普及率は1.1%である。水洗便所設置済人口は1,871人であり、水洗化率は89.9%である。

イ 収益的収支の状況

令和6年度の総収益は1億822万円、総費用は9,823万円であり、純利益が999万円生じた（第26表）。

なお、基準外繰入金を控除した場合、1団体が黒字であるものの、3団体は赤字である。

ウ 資本的収支の状況

令和6年度の資本的支出は、建設改良費3,172万円、企業債償還金3,408万円を合わせて6,579万円である（第27表）。

第26表 漁業集落排水事業（法適）の決算状況の推移

（単位：千円、％）

項目	年度	2	3	4	5	6	対前年度増減率			
							3	4	5	6
総 収 益	(A)	52,349	49,724	114,022	72,990	108,221	△5.0	129.3	△36.0	48.3
経 常 収 益	(B)	51,835	49,724	113,971	72,944	108,221	△4.1	129.2	△36.0	48.4
営業収益	(C)	14,415	12,900	16,270	15,811	24,118	△10.5	26.1	△2.8	52.5
うち料金収入		14,415	12,888	16,258	15,798	24,102	△10.6	26.1	△2.8	52.6
他会計繰入金		25,719	25,345	64,265	37,201	52,190	△1.5	153.6	△42.1	40.3
総 費 用	(D)	52,349	49,724	110,929	68,868	98,234	△5.0	123.1	△37.9	42.6
経 常 費 用	(E)	52,349	49,721	110,745	68,410	97,721	△5.0	122.7	△38.2	42.8
営 業 費 用		48,963	46,696	105,781	63,900	93,257	△4.6	126.5	△39.6	45.9
うち職員給与費		0	0	10	114	144	-	皆増	1,040.0	26.3
うち減価償却費		21,691	21,193	57,644	32,737	47,830	△2.3	172.0	△43.2	46.1
うち材料費		0	0	0	0	0	-	-	-	-
経 常 損 益	(B) - (E)	△514	3	3,226	4,534	10,500	△100.6	107,433.3	-	131.6
純 損 益	(A) - (D)	0	0	3,093	4,122	9,987	-	皆増	33.3	142.3
累 積 欠 損 金	(F)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
不 良 債 務	(G)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
経常収支比率	(B) / (E)	99.0	100.0	102.9	106.6	110.7	1.0	2.9	3.7	4.1
総収支比率	(A) / (D)	100.0	100.0	102.8	106.0	110.2	-	2.8	3.2	4.2
累積欠損金比率	(F) / (C)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
不良債務比率	(G) / (C)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
総 事 業 数	(H)	1	1	1	2	4	-	-	100.0	100.0
純損失を生じた事業数	(I)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
累積欠損金を有する事業数	(J)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
不良債務を有する事業数	(K)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
総事業数に対する割合（建設中を除く）	純損失を生じた事業数 (I) / (H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
	累積欠損金を有する事業数 (J) / (H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
	不良債務を有する事業数 (K) / (H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-

- （注） 1 他会計繰入金は、経常収益及び特別利益に係る他会計繰入金を含んでいる。
2 累積欠損金は、累積欠損金を生じた団体の合計である。
3 各比率、割合の対前年度増減率は増減ポイントを示す。
4 令和6年度から串間市、川南町が追加。

第27表 漁業集落排水事業（法適）の資本的収支の推移

(単位: 千円、%)

項目 \ 年度		2	3	4	5	6					
							3	4	5	6	
資本的支出	建設改良費	2,640	0	9,542	9,199	31,717	皆減	皆増	△3.6	244.8	
	企業債償還金	18,661	19,336	30,975	32,048	34,075	3.6	60.2	3.5	6.3	
	その他	0	0	0	0	0	-	-	-	-	
	計 (A)	21,301	19,336	40,517	41,247	65,792	△9.2	109.5	1.8	59.5	
同 上 財 源	内部資金 (B)	12,801	9,990	9,734	9,734	11,414	△22.0	△2.6	-	17.3	
	外部資金 (C)	8,963	11,311	9,602	31,513	54,378	26.2	△15.1	228.2	72.6	
	うち繰入金	企業債	5,400	8,600	9,300	14,700	28,000	59.3	8.1	58.1	90.5
		国・県補助金	1,727	1,320	0	4,592	15,822	△23.6	皆減	皆増	244.6
		他会計出資金	1,836	1,391	302	1,247	217	△24.2	△78.3	312.9	△82.6
		他会計負担金	0	0	0	0	0	-	-	-	-
		他会計借入金	0	0	0	0	0	-	-	-	-
		他会計補助金	0	0	0	11,769	10,339	-	-	皆増	△12.2
		繰入金計	1,836	1,391	302	13,016	10,556	△24.2	△78.3	4,209.9	△18.9
		計 (B)+(C)	21,764	21,301	19,336	41,247	65,792	△2.1	△9.2	113.3	59.5
財源不足額 (A)-(B)-(C)		-463	-1,965	21,181	0	0	324.4	△1,177.9	皆減	-	

- (注) 1. 内部資金: 補填財源合計額-前年度からの繰越工事資金+固定資産売却代金
 2. 外部資金: 資本的支出額- (内部資金+補填財源不足額)

⑤ 特定地域生活排水処理事業

ア 事業数及び利用状況

県内市町村の特定地域生活排水処理事業は、令和6年度末現在で4事業あり、処理区域内人口は12,300人で、行政区域内人口（559,473人）に対する普及率は2.2%である。水洗便所設置済人口は12,300人であり、水洗化率は100.0%である。

イ 収益的収支の状況

令和6年度の総収益は3億8,589万円、総費用は3億7,750万円であり、純利益が839万円生じた（第28表）。

なお、基準外繰入金を控除した場合、4団体全てにおいて赤字である。

ウ 資本的収支の状況

令和6年度の資本的支出は、建設改良費2億3,709万円、企業債償還金9,315万円、その他816万円を合わせて3億3,839万円である（第29表）。

第28表 特定地域生活排水処理事業（法適）の決算状況の推移

（単位：千円、%）

項目	年度	2	3	4	5	6	対前年度増減率			
							3	4	5	6
総 収 益	(A)	8,084	8,242	88,334	93,015	385,886	2.0	971.8	5.3	314.9
経 常 収 益	(B)	8,084	8,194	86,924	93,015	380,513	1.4	960.8	7.0	309.1
営業収益	(C)	2,447	2,327	38,529	42,030	149,420	△4.9	1,555.7	9.1	255.5
うち料金収入		2,447	2,326	38,073	42,030	149,392	△4.9	1,536.8	10.4	255.4
他会計繰入金		4,912	5,141	35,130	37,239	178,509	4.7	583.3	6.0	379.4
総 費 用	(D)	8,084	8,242	87,829	93,411	377,497	2.0	965.6	6.4	304.1
経 常 費 用	(E)	8,084	8,242	86,332	93,409	373,207	2.0	947.5	8.2	299.5
営業費用		7,326	7,518	82,315	88,821	356,125	2.6	994.9	7.9	300.9
うち職員給与費		0	0	13,314	14,478	55,580	-	皆増	8.7	283.9
うち減価償却費		2,117	2,117	26,689	28,998	118,903	-	1,160.7	8.7	310.0
うち材料費		0	0	0	0	0	-	-	-	-
経 常 損 益	(B) - (E)	0	△48	592	△394	7,306	皆増	△1,333.3	-	-
純 損 益	(A) - (D)	0	0	505	△396	8,389	-	皆増	△178.4	△2,218.4
累 積 欠 損 金	(F)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
不 良 債 務	(G)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
経常収支比率	(B) / (E)	100.0	99.4	100.7	99.6	102.0	△0.6	1.3	△1.1	2.4
総収支比率	(A) / (D)	100.0	100.0	100.6	99.6	102.2	-	0.6	△1.0	2.6
累積欠損金比率	(F) / (C)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
不良債務比率	(G) / (C)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
総 事 業 数	(H)	1	1	2	2	4	-	100.0	-	100.0
純損失を生じた事業数	(I)	0	0	0	1	0	-	-	皆増	皆減
累積欠損金を有する事業数	(J)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
不良債務を有する事業数	(K)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
総事業数に対する割合（建設中を除く）	純損失を生じた事業数	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	-	-	皆増	皆減
	累積欠損金を有する事業数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
	不良債務を有する事業数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-

- （注） 1 他会計繰入金は、経常収益及び特別利益に係る他会計繰入金を含んでいる。
2 累積欠損金は、累積欠損金を生じた団体の合計である。
3 各比率、割合の対前年度増減率は増減ポイントを示す。
4 令和6年度から宮崎市、綾町が追加。

第29表 特定地域生活排水処理事業（法適）の資本的収支の推移

(単位: 千円、%)

項目	年度	2	3	4	5	6	対前年度増減率			
							3	4	5	6
資本的支出	建設改良費	0	0	79,155	79,360	237,086	-	皆増	0.3	198.7
	企業債償還金	1,675	1,722	8,053	9,895	93,145	2.8	367.7	22.9	841.3
	その他	0	0	8,206	7,780	8,155	-	皆増	△5.2	4.8
	計 (A)	1,675	1,722	95,414	97,035	338,386	2.8	5,440.9	1.7	248.7
同 上 財 源	内部資金 (B)	1,392	1,391	7,538	3,753	75,082	△0.1	441.9	△50.2	1,900.6
	外部資金 (C)	283	331	87,876	93,282	263,304	17.0	26,448.6	6.2	182.3
	企業債	200	300	43,600	43,900	144,800	50.0	14,433.3	0.7	229.8
	国・県補助金	0	0	13,637	22,226	70,713	-	皆増	63.0	218.2
	繰入金	83	31	0	99	14,110	△62.7	皆減	皆増	14,152.5
	他会計出資金	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	他会計負担金	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	他会計借入金	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	他会計補助金	0	0	14,120	10,776	5,145	-	皆増	△23.7	△52.3
	繰入金計	83	31	14,120	10,875	19,255	△62.7	45,448.4	△23.0	77.1
	計 (B)+(C)	1,675	1,722	95,414	97,035	338,386	2.8	5,440.9	1.7	248.7
財源不足額 (A)-(B)-(C)		0	0	0	0	0	-	-	-	-

(注) 1. 内部資金: 補填財源合計額-前年度からの繰越工事資金+固定資産売却代金

2. 外部資金: 資本的支出額- (内部資金+補填財源不足額)